

令和8年度 第38回 全国高等学校情報処理競技大会

主 催 全 国 商 業 高 等 学 校 長 協 会
公益財団法人 全国商業高等学校協会
後 援 文 部 科 学 省

2026. 7. 25

全 国 大 会 競 技 問 題

〔 I 〕 関 連 用 語 と デ ー タ ベ ー ス

(解答時間 問題【1】、【2】、【3】、【4】とあわせて40分)

注意事項

- (1) 筆記用具は、鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムです。
- (2) 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- (3) 電卓は使用できません。
- (4) 解答は明瞭に記入してください。
- (5) 答案を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- (6) 答案作成が終わっても、着席したまま静かにしてください。
- (7) 途中で気分が悪くなった場合は、手をあげて係員に知らせてください。

【注意】 係員の指示があるまで、問題に手を触れないでください。

【1】 次の各問いに最も関連の深いものをア、イ、ウ、エの中から選び、記号で答えなさい。

問1 コンピュータシステムにおいて、入力されたデータを即座に処理し、一定時間内にその結果を遅滞なく出力する方式。

ア スプーリング処理 イ バッチ処理 ウ リアルタイム処理 エ インタラクティブ処理

問2 プログラムの不具合などによって生じる、情報漏えいや操作の改ざんなどの被害を引き起こす恐れがある、ソフトウェアやコンピュータシステム上の欠陥。

ア ファイアウォール イ マルウェア ウ バックアップ エ セキュリティホール

問3 データベースのトランザクション処理において、あるデータ項目に対して設定すると、他のトランザクションがそのデータの読み取りや書き込みなどを行えなくなるロック。

ア 共有ロック イ 意図ロック ウ 悲観ロック エ 専有ロック

問4 ハイブリッド暗号方式の説明として、最も適切なもの。

- ア 送信者と受信者があらかじめ共有したパスワードから共通鍵を生成し、暗号化と復号に利用することで安全に通信を行う暗号方式。
- イ 送信データを受信者の公開鍵で暗号化し、大容量データでも高速かつ安全に通信を行う暗号方式。
- ウ 送信データを共通鍵で暗号化し、その共通鍵を受信者の公開鍵で暗号化することにより、安全性と効率性を実現させる暗号方式。
- エ 送信データの暗号化に共通鍵を用い、その共通鍵を送信者と受信者で事前に共有することにより、効率的に通信を行う暗号方式。

問5 SNMPの説明として、最も適切なもの。

- ア ネットワーク上で、各機器に対してIPアドレスを自動的に割り振ることで、ネットワークの管理を効率的に行うためのプロトコル。
- イ ネットワーク上で、ルータやスイッチなどの機器の状態、CPU使用率、メモリ使用量などを監視したり、設定情報を取得、変更したりすることにより、ネットワークの管理を効率的に行うためのプロトコル。
- ウ ネットワーク上で、複数のコンピュータや機器の時刻を同期させることにより、ログの一貫性やスケジュール制御を可能にするプロトコル。
- エ ネットワーク上で、Webページの読み込み速度を向上させるために、通信効率やデータ圧縮、並列転送などの技術を用いてページ表示を高速化するプロトコル。

問6 インターネット上で検索や閲覧を行う際、過去の検索履歴やアクセス履歴にもとづき、表示される検索結果や広告が最適化されることにより、利用者の関心に沿った情報が効率的に得られる一方で、異なる意見や情報に触れにくくなり、特定の情報に偏る恐れがあるもの。

ア フィルターバブル イ エコーチェンバー
ウ パーソナライズド広告 エ レコメンデーションシステム

問7 コンカレントエンジニアリングの説明として、最も適切なもの。

- ア 製品開発において、開発プロセス全体の品質管理や改善を中心として統計的手法や品質保証のしくみを活用し、不良品の発生を抑えるとともに、プロセスを最適化することを目的とした手法。
- イ 製品開発において、製品の企画から設計、試作、製造までを順次進めることにより、工程の戻りを極力避けることを目的とする手法。
- ウ 製品開発において、企画、設計、試作、製造などの各工程を、設計部門、製造部門、品質管理部門などの関係部門が連携しながら同時並行で進める手法。
- エ 製品開発において、既存製品やシステムを解析して、構造や設計情報、技術的手法を抽出、整理し、新製品開発や製品改善、互換部品の設計などに活用する手法。

問8 システム開発を外部に発注した際、目的物が仕様書と異なる内容であったとき、請負人が負う責任として適切なもの。

- ア 債務不履行責任 イ 契約不適合責任 ウ 刑事責任 エ 民事不法行為責任

問9 XBRLの説明として、最も適切なもの。

- ア XMLを基盤として設計され、財務情報や会計データなどを電子的に標準化し、効率的に交換、分析できる情報交換用のデータ記述言語。
 イ ネットワークやOSの環境に依存せず、テキストや画像、レイアウト、フォント、罫線や書式設定などを保持したまま、文書や表などを保存、表示できるフォーマット。
 ウ インターネット上で文字や画像、音声、動画などを統合的に表示、管理するために用いられるWebページ作成用の標準的マークアップ言語。
 エ メインフレーム向けに設計され、集計や印刷用の帳票を自動生成することを主な目的とし、財務、在庫管理、給与システムなどの帳票作成やデータ処理のために開発されたプログラミング言語。

問10 CPUやメモリなどのハードウェアリソースを仮想化し、複数の独立したOS環境を同一物理マシン上で同時に稼働させるソフトウェア。

- ア ロードバランサ イ シストリックアレイ
 ウ デスクトップグリッド エ ハイパーバイザ

問11 クレデンシャルスタッフィング攻撃の説明として、最も適切なもの。

- ア 利用者の通信を盗聴して、暗号化されていないIDやパスワードを不正に取得する攻撃。
 イ 過去に漏えいした利用者のID、パスワードを使って、他のWebサービスやアカウントに不正ログインを試みる攻撃。
 ウ パスワードを総当たりで試して、ログインに成功するまで繰り返す攻撃。
 エ 利用者がWebサイトに入力した内容を不正に書き換えることにより、マルウェア感染や情報漏えいを引き起こす攻撃。

問12 キャッシュメモリの書き込み制御方式の一つであるライトバック方式の特徴として、最も適切なもの。

- ア データ更新時にキャッシュのみを優先的に書き換え、キャッシュの空き容量が不足したときに、主記憶装置への書き込みを行う制御方式。
 イ 主記憶装置のデータを常にキャッシュに同期させ、キャッシュ側の更新を抑制する方式。
 ウ 主記憶装置のデータをキャッシュに保持せず、毎回主記憶装置から読み出す方式。
 エ データ更新時に必ず主記憶装置とキャッシュの両方を同時に書き換える制御方式。

問13 大量の入力データを処理するために、多数の処理ユニットを階層的に結合し、人間の脳の神経回路を模倣することで学習やパターン認識を行うしくみ。

- ア クラスタリング イ モンテカルロ法
 ウ ニューラルネットワーク エ エキスパートシステム

問14 不正のトライアングルの構成要素として、最も適切なもの。

- ア コンプライアンス、ガバナンス、企業倫理 イ 内部統制、監査リスク、リスク評価
 ウ キャッシュフロー、利益操作、財務比率 エ 動機、機会、正当化

問15 市場で確立された先行者の製品やサービスを参考にし、経営資源や人的、物的資源を効率的に活用することで、事業の継続と利益の確保を目指す企業戦略。

- ア フォロワー戦略 イ ファーストペンギン戦略
 ウ コストリーダーシップ戦略 エ ニッチ戦略

【2】 次の各問いに答えなさい。

問1 次の6つの数値の平均値とモードの差は、絶対値でいくつか。

21, 19, 36, 17, 17, 10

問2 次の条件で7日間サービスオペレーションを提供するためには、必要なオペレータは最少で何名か。

〔条件〕

- ・ サービス提供時間は、午前8時から午後8時までとする。
- ・ オペレータの1日の勤務時間は6時間とし、7日間あたり4日間勤務する。
- ・ 勤務するオペレータは、常に3名以上とする。
- ・ その他の条件は考慮しなくてよい。

問3 一つのトランザクションについて、80万ステップの命令実行を必要とするシステムがある。プロセッサの使用率が75%で、処理能力が240件/秒のとき、プロセッサの性能は何MIPSか。

問4 次の条件で同値分割法と境界値分析によってテストをする。テストデータは、最低何個必要か。

〔条件〕

- ・ 有効値は、整数 1～200 までとする。
- ・ 入力された整数が 1～69 の場合、 α の処理を実行する。
- ・ 70～100 の場合、 β の処理を実行する。
- ・ 101～200 の場合、 θ の処理を実行する。
- ・ 同値分割法のテストデータは、有効同値クラスと無効同値クラスの1クラスにつき、一つとする。ただし、境界値を除く。
- ・ 境界値分析のテストデータは、有効同値クラスと無効同値クラスのすべての境界値とする。

問5 次の手順はバブルソートによる整列を示している。配列 Ban にはデータ (5, 3, 8, 4, 2) が記憶され、n にデータ件数が、j に 0 が記憶されている。手順(1)～(3)にしたがって整列する際、手順(1)の「両者を交換する」処理を何回実行するか。なお、配列の添字は 0 から始まり、データは添字 0 から順に記憶されており、データにエラーはないものとする。

〔手順〕

- (1) $j \leq n - 2$ の間、①～②の処理を繰り返す。
 - ① Ban(j) と Ban(j + 1) を比較し、Ban(j) が Ban(j + 1) より大きい場合、両者を交換する。
 - ② j + 1 を j に代入する。
- (2) n - 1 を n に代入する。
- (3) n > 0 の場合、j に 0 を代入し(1)に戻る。そうでない場合、配列 Ban の整列を完了する。

問6 次の表は、サーバを導入した際の利益額と投資額、現価係数の一覧である。ROIは何%か。ただし、小数第3位未満を四捨五入して、%で小数第1位まで答えなさい。

表

	第1年度初頭	第1年度末	第2年度末	第3年度末
利益額（万円）	－	250	250	250
投資額（万円）	600	－	－	－
現価係数	－	0.962	0.925	0.889

問7 16進数で表現された7ビットの文字コード 4B に、2進数で表現された1ビットの奇数パリティビットを末尾に付加した値を、16進数で表した値はいくつか。

問8 次の表は、ハッシュ値を求めるためのものである。4文字($\delta_1, \delta_2, \delta_3, \delta_4$)で構成されるキー rjah について、次の式によって求めたハッシュ値はいくつか。なお、 $a \bmod b$ は a を b で割った余りを表す。

$$(\delta_1 + \delta_2 + \delta_3 + \delta_4) \bmod 27$$

表

a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26

問9 次の表は、P社とQ社が、それぞれ2種類の戦略を採用した場合に得られる利得額である。両社がそれぞれのマクシミン戦略を採用した場合の利得額はいくらか。なお、左側の値がP社の利得額、右側の値がQ社の利得額とする。

表

Q社戦略 P社戦略	B1	B2
A1	-2, 3	4, 0
A2	3, 6	-1, -3

問10 M君は、自宅から学校まで自転車で通学している。通常、M君の自転車の平均速度は13.0km/hであるが、家を出る時間が通常より10分遅くなったため、平均速度15.6km/hで登校したところ、平均速度13.0km/hの時と同じ時刻に学校へ到着した。M君が家を遅く出たときの通学時間は何分か。

【3】 次の各問いに答えなさい。

問1 次の結果表は、学生表をもとに作成したものである。このようなリレーショナル型データベースの操作として、最も適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

学生表

学生番号	学生名	部活動名
26001	小林 ○○	空手道
26002	佐々木 ○○	吹奏楽
26003	吉田 ○○	サッカー
26004	山本 ○○	吹奏楽

結果表

学生番号	学生名	部活動名
26002	佐々木 ○○	吹奏楽
26004	山本 ○○	吹奏楽

解答群

ア 射影

イ 結合

ウ 和

エ 選択

問2 次のテーブルは、ある専門学校において講座を管理するものである。このテーブルを利用する際に生じる説明文のうち、最も適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。なお、下線付きの項目は主キーを、破線付きの項目は外部キーを表している。

講座表

講座番号	講座名	教室コード	開講年度
1001	システム開発	M101	2010
1002	ネットワーク	A301	2010
1003	データベース	A301	2010
1004	Webデザイン	A301	2015
}	}	}	}
1025	AI	M101	2023
1026	セキュリティ	M201	2025

受講者表

受講者コード	講座番号	受講年度
A00001	1001	2010
A00001	1002	2010
}	}	}
A00953	1005	2023
}	}	}

教室表

教室コード	教室名
M101	本館101
M201	本館201
}	}
A301	別館301
}	}

(注) 上記以外のテーブルの表記を省略している。

解答群

ア 講座表に新しい講座番号 1027 の講座を追加しても、データの不整合は生じない。

イ 講座表の講座番号 1001 の教室コードを、M101 から M201 に変更することはできない。

ウ 講座表の講座番号 1025 の講座名を AI から AI・データサイエンス に変更する場合、新しい講座番号を設定しなければならない。

エ 講座表に新しい講座番号 1027 の講座を追加する際、現在開講している全26講座の中から必ず一つ以上の講座を削除しなければならない。

問3 以下の手順は、DBMSにおいて、障害発生時の復旧方法を表したものである。空欄(1)～(3)にあてはまる最も適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

1 障害が発生する前に保存していたバックアップファイルを使用して、データベースを保存した時点の状態に戻す。

2 バックアップファイル取得以降に (1) した全ての (2) を利用し (3) を実行する。

解答群

ア ロールバック

イ ロールアウト

ウ コミット

エ ロック

オ トランザクション

カ スキーマ

キ シャドウコピー

ク ロールフォワード

問4 ある企業では、商品の在庫をデータベースで管理している。次のSQL文の結果を表したベン図はどれか。
最も適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。なお、下線付きの項目は主キーを表している。

北部地域在庫表

<u>商品コード</u>	商品名	在庫数
--------------	-----	-----

中部地域在庫表

<u>商品コード</u>	商品名	在庫数
--------------	-----	-----

南部地域在庫表

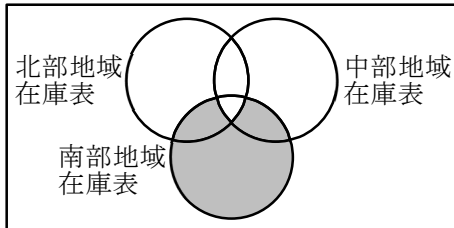
<u>商品コード</u>	商品名	在庫数
--------------	-----	-----

(注) 上記以外のテーブルの表記を省略している。

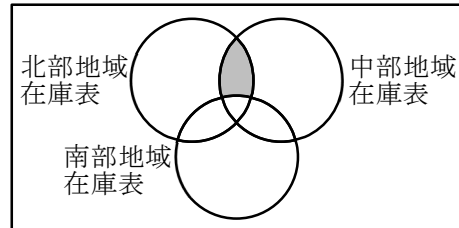
```
SELECT * FROM 北部地域在庫表 WHERE 商品コード NOT IN (SELECT 商品コード FROM 南部地域在庫表)
UNION
SELECT * FROM 中部地域在庫表 WHERE 商品コード NOT IN (SELECT 商品コード FROM 南部地域在庫表)
```

解答群

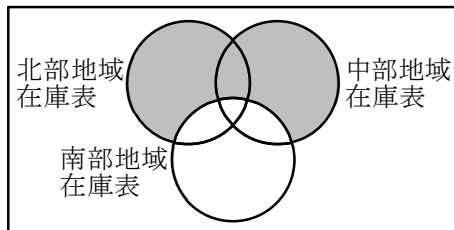
ア



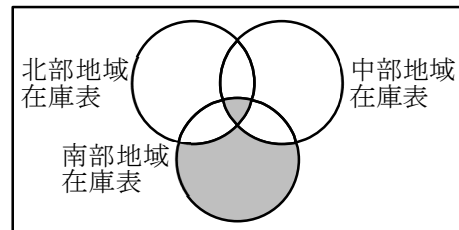
イ



ウ



エ



問5 次の文章は、ある企業の上司と部下の会話である。空欄(1)～(5)にあてはまる最も適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。なお、下線付きの項目は主キーを、破線付きの項目は外部キーを表している。

上司：ここまで、主キーについて学習をしましたが、ここからは外部キーについて学習をしていきます。

部下：主キーとは、「テーブル内の(1)を一意に特定するためのもの」ということでした。外部キーは、主キーと何が違うのでしょうか？

上司：例として、「社員表」と「支店表」の関係で考えてみましょう。

社員表

<u>社員番号</u>	社員名	<u>支店コード</u>	配属年月
-------------	-----	--------------	------

支店表

<u>支店コード</u>	支店名
--------------	-----

外部キーとは、社員表の(2)のように、テーブル間の(3)を定義して、データの整合性を保ち、適正な管理をするために必要です。

部下：「データの整合性を保つ」という点が分かりにくいので、もう少し詳しく説明をお願いします。

上司：では、支店表に存在しない(2)を、社員表の(2)に追加すると、どうなるのでしょうか？

部下：存在しない支店に所属する社員が登録されていることになります。

上司：そのとおりです。これではデータの整合性を保つことができません。これを防ぐために、外部キーを設定する必要があります。外部キーは、参照しているテーブルに(4)データの(5)に、設定することができます。

部下：わかりました。この後の研修も、よろしくお願いします。

解答群

ア 社員番号

イ レコード

ウ フィールド

エ 支店コード

オ リレーションシップ

カ 存在する

キ エンティティ

ク 存在しない

【4】 ある高等学校の陸上競技部では、過去のトラック競技の記録を管理するためにリレーショナル型データベースを利用している。このデータベースについて各問いに答えなさい。

テーブルの構成

選手表

選手コード	選手名
-------	-----

競技表

競技コード	競技名
-------	-----

ラウンド表

ラウンドコード	ラウンド名
---------	-------

記録表

選手コード	競技コード	大会コード	ラウンドコード	実施日	記録	順位
-------	-------	-------	---------	-----	----	----

大会表

大会コード	大会名	規模コード	実施年度
-------	-----	-------	------

参加標準表

大会コード	競技コード	参加標準記録
-------	-------	--------

大会規模表

規模コード	規模名
-------	-----

(注) 下線付きの項目は、主キーを表している。

処理条件

- 選手表は、1名の選手ごとに1レコード作成される。
- 大会表は、大会ごとに1レコードが作成される。なお、規模コードは、1（地区）、2（都道府県）、3（ブロック）、4（全国）である。また、規模コードは数値型として記憶される。
- 競技表は、競技ごとに1レコードが作成され、競技コードは次の例のとおりである。なお、性別は B（男性）、G（女性）であり、競技の種別は S（短距離）、M（中距離）、L（長距離）、H（ハードル）である。

例 B1500M → B 1500 M
性別 距離(m) 種別

- 参加標準表は、競技ごとに設定される参加標準記録が記憶されている。なお、参加標準記録は、上位大会に出場する資格を得るための記録のことである。
- ラウンド表のラウンド名は、予選、準決勝、決勝のいずれかの文字列が記憶される。
- 大会規模表の規模名は、地区、都道府県、ブロック、全国のいずれかの文字列が記憶される。
- 記録表は、各選手の記録が、競技・大会・ラウンドごとに記憶される。なお、実施日は日付型であり、次の例のとおり記憶される。また、順位は数値型として記憶される。

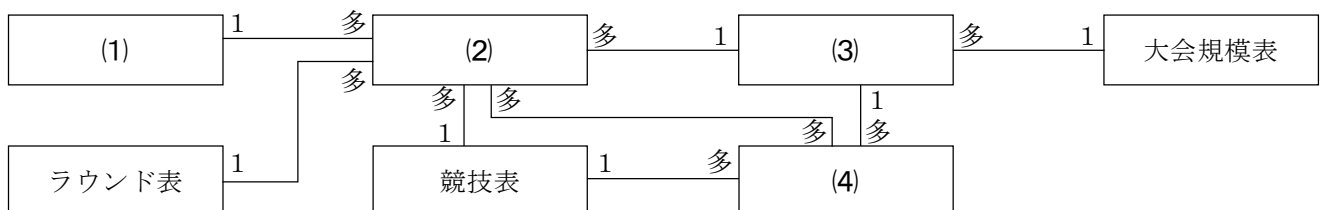
例 '2026/07/01' → 2026年7月1日

- 参加標準表の参加標準記録と、記録表の記録は数値型であり、次の例のとおり記憶される。

例 1030 → 10秒30 31045 → 3分10秒45

問1 テーブルの構成をもとにE-R図を作成した。作成したE-R図の空欄(1)～(4)にあてはまるテーブル名を解答群から選び、記号で答えなさい。

テーブルの構成をもとにしたE-R図



解答群

ア 記録表

イ 大会表

ウ 選手表

エ 参加標準表

問2 参加標準表に、次に実施される大会の参加標準記録を登録する際、前回大会と同様であることが通知されたため、前回の参加標準記録を今回大会用に登録するためのSQL文を作成した。空欄(1)～(2)をうめなさい。なお、今回の大会コードは T00110、前回の大会コードは T00090 である。

```

INSERT INTO 参加標準表 ( (1), 競技コード, 参加標準記録)
SELECT 'T00110', 競技コード, 参加標準記録
FROM 参加標準表
WHERE (1) = ' (2) '
  
```

問3 各競技において全国大会の決勝に出場し、3位以内の男性選手のデータを抽出するためのSQL文を作成した。空欄(1)～(4)をうめなさい。なお、決勝のラウンドコードは R001 である。

```
SELECT 競技名, 選手名, 大会名, 記録, 順位
FROM 記録表 A, (1) B, 大会表 C, 選手表 D
WHERE A.競技コード = B.競技コード AND A.大会コード = C.大会コード
AND (2) AND A.競技コード (3) 'B%'
AND 解答不要 AND A.ラウンドコード = 'R001'
AND 順位 (4)
```

問4 全国大会における競技ごとの最高記録を、競技コードの昇順に抽出するためのSQL文を作成した。空欄(1)～(4)をうめなさい。なお、全国大会の規模コードは 4 である。

```
SELECT 競技名, 選手名, 大会名, 記録
FROM 記録表 A, 解答不要 B, 大会表 C, 選手表 D
WHERE A.競技コード = B.競技コード AND A.大会コード = C.大会コード
AND 解答不要 AND (1)
AND (2) = (SELECT (3) (E.(2)) FROM 記録表 E, 大会表 F
WHERE (4)
AND E.競技コード = A.競技コード AND F.(1))
ORDER BY A.競技コード
```

問5 2026年7月1日に、200mに出場する男性選手について、過去1年間の参加標準記録より速い記録をもつ選手を、記録の昇順に抽出するためのSQL文を作成した。空欄(1)～(4)をうめなさい。

```
SELECT 選手名, 大会名, 記録, 参加標準記録, 実施日
FROM 記録表 A
INNER JOIN 競技表 B ON A.競技コード = B.競技コード
INNER JOIN 大会表 C ON A.大会コード = C.大会コード
INNER JOIN 選手表 D ON A.選手コード = D.選手コード
INNER JOIN 参加標準表 E ON A.大会コード = E.大会コード AND A.競技コード = E.競技コード
WHERE (1) = 'B0200S' AND (2) (3) 参加標準記録
AND 実施日 (4) '2025/07/01' AND '2026/06/30'
ORDER BY (2) (注) INNER JOIN は内部結合を表す。
```

問6 2026年7月1日に、以下の条件で抽出した女性選手の結果を、競技コード、記録の昇順に並べ替えるためのSQL文を作成した。空欄(1)～(4)をうめなさい。なお、今年実施された全国大会の大会コードは T00100 である。

〔条件〕以下のいずれかの条件を満たしていること。

- ・ 今年実施された全国大会の100m参加標準記録より速い記録を、過去1年以内に有している。
- ・ 今年実施された全国大会の200m参加標準記録より速い記録を、過去1年以内に有している。

```
SELECT 選手名, 競技コード, 記録, 大会名, 実施日
FROM 記録表 A, 選手表 B, 大会表 C
WHERE A.選手コード = B.選手コード AND A.大会コード = C.大会コード
AND 実施日 >= '2025/07/01' AND (競技コード = 'G0100S' (1) 競技コード = 'G0200S')
AND A.選手コード (2) (SELECT E.選手コード FROM 参加標準表 D, 記録表 E
WHERE D.競技コード = E.競技コード
AND (3) = '(4)'
AND E.記録 < 参加標準記録)
ORDER BY 競技コード, 解答不要
```

[Ⅰ] 関連用語とデータベース 解答用紙

選手番号	
------	--

得点合計	
------	--

【 1 】

問 1		問 2		問 3		問 4		問 5	
問 6		問 7		問 8		問 9		問10	
問11		問12		問13		問14		問15	

小計	
----	--

【 2 】

問 1		問 2	名	問 3	MIPS	問 4	個	問 5	回
問 6	%	問 7		問 8		問 9	P社 Q社	問10	分

小計	
----	--

【 3 】

問 1		問 2			問 3	(1)		(2)		(3)	
問 4		問 5	(1)		(2)		(3)		(4)		(5)

小計	
----	--

【 4 】

問 1	(1)		(2)		(3)		(4)	
問 2	(1)					(2)		
問 3	(1)					(2)		
	(3)					(4)		
問 4	(1)					(2)		
	(3)					(4)		
問 5	(1)					(2)		
	(3)					(4)		
問 6	(1)					(2)		
	(3)					(4)		

小計	
----	--

[I] 関連用語とデータベース 審査基準

得点合計	100
------	-----

【1】

問1	ウ	問2	エ	問3	エ	問4	ウ	問5	イ
問6	ア	問7	ウ	問8	イ	問9	ア	問10	エ
問11	イ	問12	ア	問13	ウ	問14	エ	問15	ア

各2点
15問小計
30

【2】

問1	3	問2	11 名	問3	256 MIPS	問4	13 個	問5	7 回
問6	115.7 %	問7	97	問8	10	問9	P社 3 Q社 6	問10	60 分

各2点
10問小計
20

【3】

問 1	エ	問 2	ア		問 3	(1)	ウ	(2)	オ	(3)	ク	
問 4	ウ	問 5	(1)	イ	(2)	エ	(3)	オ	(4)	カ	(5)	ウ

問ごとに
4点小計
20

【4】

問 1	(1)	ウ	(2)	ア	(3)	イ	(4)	エ	
問 2	(1)	大会コード						(2)	T00090
問 3	(1)	競技表						(2)	A. 選手コード = D. 選手コード
	(3)	LIKE						(4)	<= 3
問 4	(1)	規模コード = 4						(2)	記録
	(3)	MIN						(4)	E. 大会コード = F. 大会コード
問 5	(1)	A. 競技コード						(2)	記録
	(3)	<						(4)	BETWEEN
問 6	(1)	OR						(2)	IN
	(3)	D. 大会コード						(4)	T00100

問ごとに
5点小計
30